

栗永昭彦様のお紙を拝読
いたしました。私より六年先に

生れた方が、国を守るために命を
かけて戦われたことを思いますと
その後の人達の臍甲斐無き生
方は、申し訳ないことです。

前田様から平泉澄(キヨシ)先生の
本をいただきました。その中に

心を一つにすれば、百萬の敵も
懼れるに足らず、心が一つにならな
ければ、數十の敵でも懼るべし、
とありました。

今の政界は心を一つにするとは
正反対で、各人各様に心を

バラバラにして国力を低下させています。
周辺国の思いつく所に陥っています。

立憲民主党政などは論外な

存在ですが、自民党の中にあつても
二階のような卑しい徒が権力を

握って、自命の思い通りに政治を
操っているのは、許し難いことです。

先の本に次の一節があります。
風俗習慣を条文にすれば、
(条文に表わすことによつて)
その弾力性を失わしめる。
衝き方改革の法案は、正にこれに
当てはまります。

衝くことは、自分の裁量でやる
べきことであり、制度などで規定
することではありません。

それを法制化したために、
弾力性を失つて硬直化します。

このようにやらない方がいい事には
次々と着手して掻き回しておいて
国家・国民にとって重大な

憲法改政などには、誰も口先
だけで、手を出さる人がおりません。
こうした政治の怠慢がまかり通つて
いる中にあるても、高額報酬を
厚く受けて取っています。

政界は65才以上は立候補できない
ようにするべきです。

鍵山秀三郎様